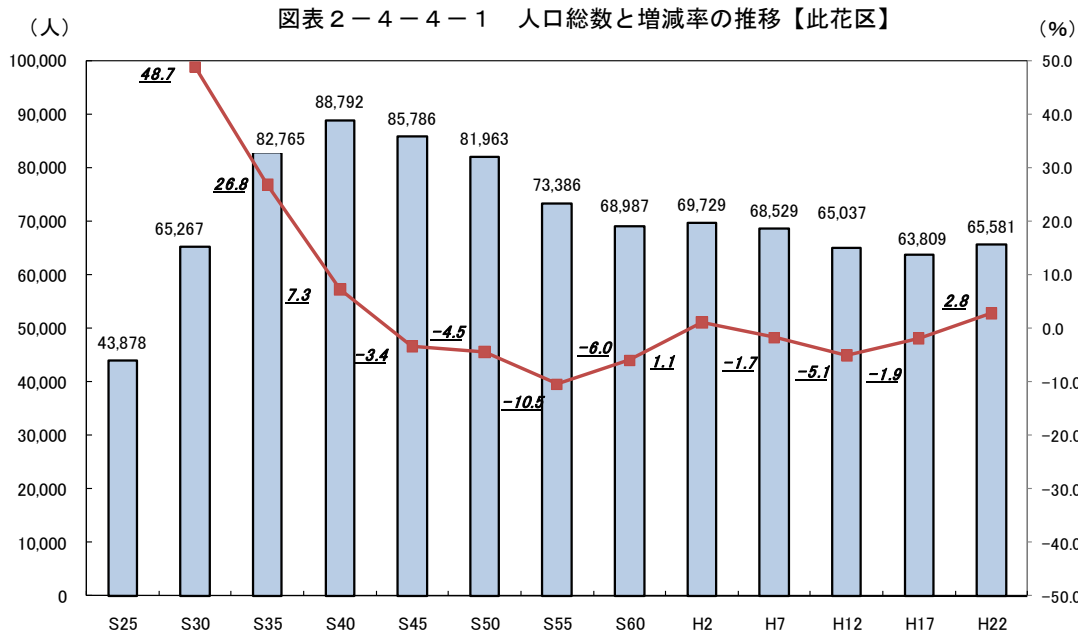


< 4 > 此花区

1. 人口の推移

・昭和45年より減少傾向が続くも、平成22年は平成2年以来の増加。

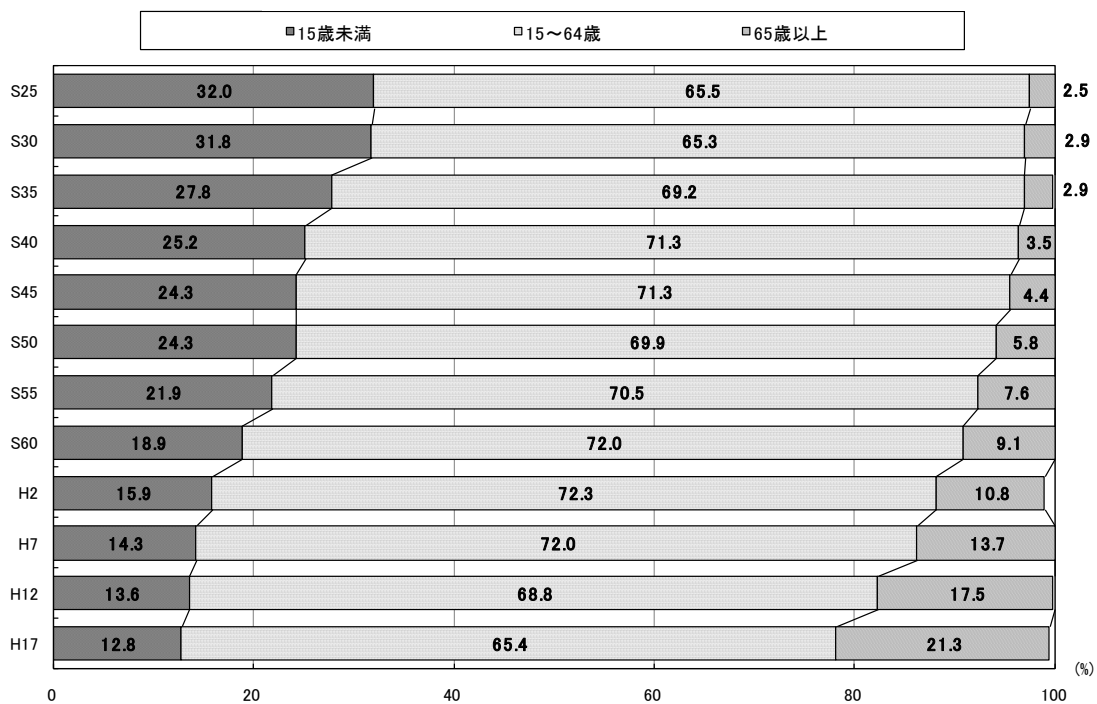


資料：国勢調査 ※H22は速報値

2. 年齢3区分別人口割合の推移

・年少人口割合は市全体の水準を上回って推移しているが、低下幅は大きい。生産年齢人口割合は市全体の水準を下回って推移しており、老年人口割合が高くなっている。

図表 2-4-4-2 年齢3区分別人口割合の推移【此花区】



資料：国勢調査

注：年齢「不詳」を含むため、合計値が100%にならない場合がある。

3. 自然動態

・平成14年に初めて自然減少に転じ、その後も自然減少が続く。

図表2-4-4-3 出生・死亡・自然増減数の推移【此花区】

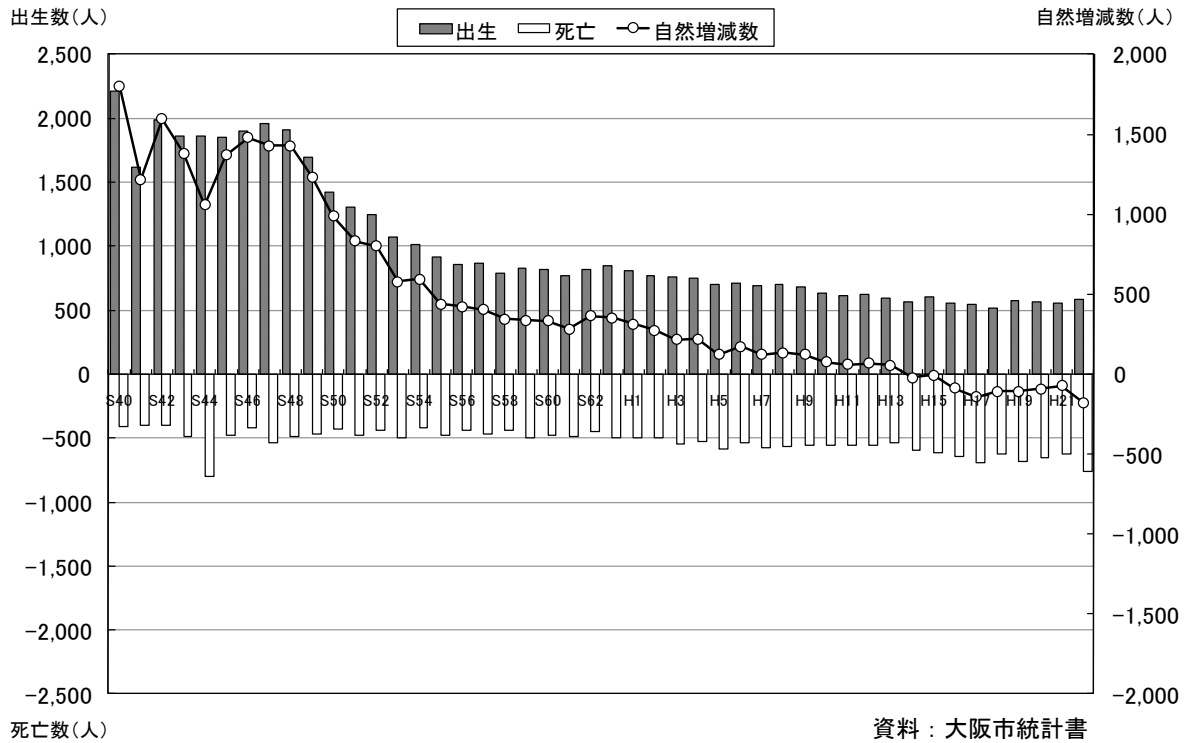


図2-4-4-4 出生・死亡・自然増減数の推移【此花区】

	出生数	死亡数	自然増減数		出生数	死亡数	自然増減数
昭和40年	2,209	411	1,798	昭和63年	851	499	352
昭和41年	1,614	397	1,217	平成元年	806	494	312
昭和42年	1,993	397	1,596	平成2年	774	500	274
昭和43年	1,866	483	1,383	平成3年	761	544	217
昭和44年	1,862	803	1,059	平成4年	748	529	219
昭和45年	1,852	481	1,371	平成5年	701	580	121
昭和46年	1,902	423	1,479	平成6年	708	533	175
昭和47年	1,963	535	1,428	平成7年	694	571	123
昭和48年	1,914	487	1,427	平成8年	697	564	133
昭和49年	1,700	467	1,233	平成9年	681	557	124
昭和50年	1,419	432	987	平成10年	635	559	76
昭和51年	1,306	473	833	平成11年	612	551	61
昭和52年	1,244	442	802	平成12年	624	557	67
昭和53年	1,070	493	577	平成13年	590	533	57
昭和54年	1,015	419	596	平成14年	568	591	△23
昭和55年	920	480	440	平成15年	608	614	△6
昭和56年	862	438	424	平成16年	555	641	△86
昭和57年	867	464	403	平成17年	546	688	△142
昭和58年	788	443	345	平成18年	516	623	△107
昭和59年	833	496	337	平成19年	575	682	△107
昭和60年	815	481	334	平成20年	561	652	△91
昭和61年	767	486	281	平成21年	557	628	△71
昭和62年	815	450	365	平成22年	586	762	△176

資料：大阪市統計書

4. 社会動態

・ほぼ一貫して社会減少が続いてきたが、平成18年からは社会増加に転じて推移している。

図表2-4-4-5 転入・転出・社会増減数の推移【此花区】

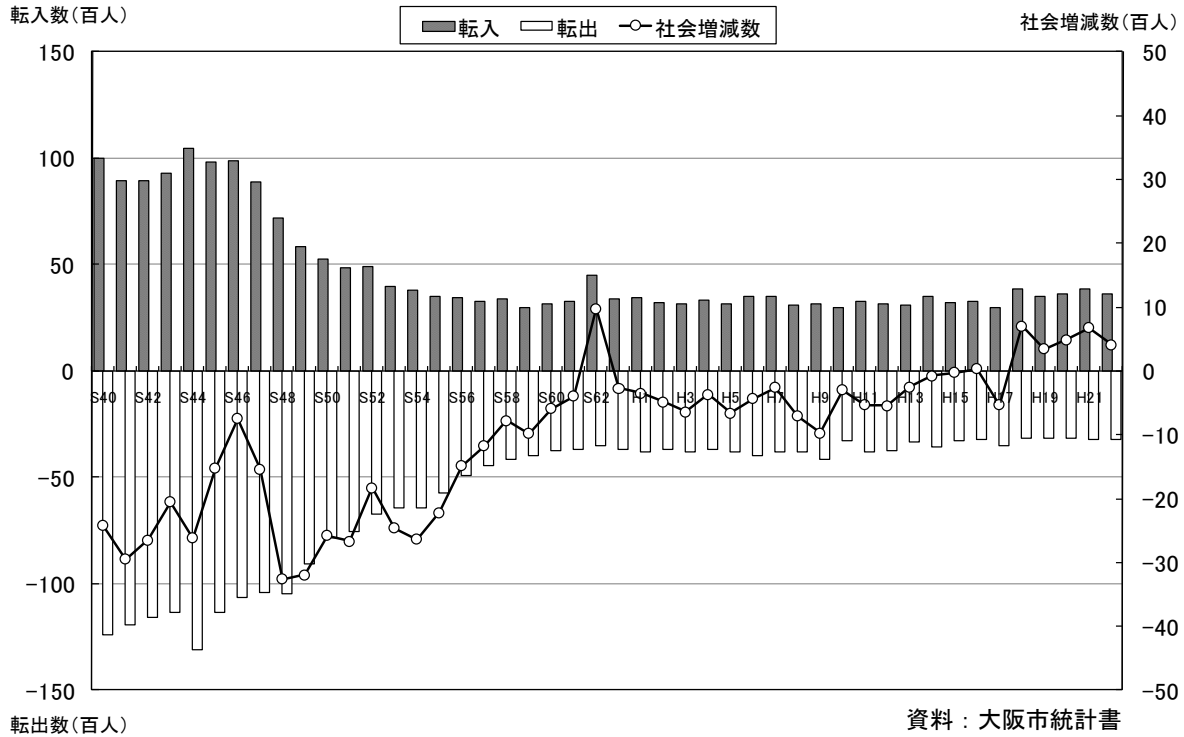


図2-4-4-6 転入・転出・社会増減数の推移【此花区】

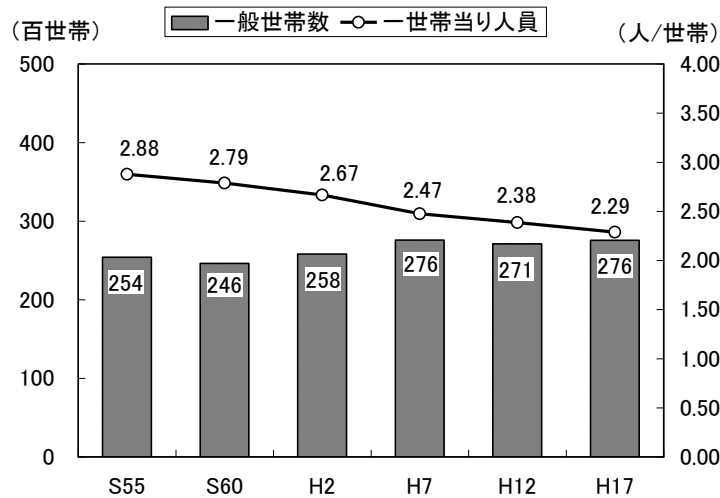
	転入数	転出数	社会増減数		転入数	転出数	社会増減数
昭和40年	9,982	12,400	△2,418	昭和63年	3,409	3,678	△269
昭和41年	8,966	11,914	△2,948	平成元年	3,468	3,815	△347
昭和42年	8,937	11,585	△2,648	平成2年	3,202	3,683	△481
昭和43年	9,285	11,339	△2,054	平成3年	3,175	3,813	△638
昭和44年	10,465	13,078	△2,613	平成4年	3,343	3,706	△363
昭和45年	9,800	11,328	△1,528	平成5年	3,150	3,805	△655
昭和46年	9,909	10,652	△743	平成6年	3,520	3,950	△430
昭和47年	8,867	10,401	△1,534	平成7年	3,528	3,785	△257
昭和48年	7,201	10,458	△3,257	平成8年	3,077	3,784	△707
昭和49年	5,847	9,041	△3,194	平成9年	3,153	4,124	△971
昭和50年	5,244	7,826	△2,582	平成10年	2,983	3,285	△302
昭和51年	4,881	7,549	△2,668	平成11年	3,302	3,829	△527
昭和52年	4,896	6,719	△1,823	平成12年	3,171	3,714	△543
昭和53年	3,961	6,418	△2,457	平成13年	3,095	3,341	△246
昭和54年	3,824	6,456	△2,632	平成14年	3,488	3,559	△71
昭和55年	3,493	5,710	△2,217	平成15年	3,234	3,257	△23
昭和56年	3,425	4,916	△1,491	平成16年	3,249	3,216	33
昭和57年	3,256	4,431	△1,175	平成17年	2,999	3,533	△534
昭和58年	3,389	4,162	△773	平成18年	3,837	3,130	707
昭和59年	2,989	3,967	△978	平成19年	3,499	3,153	346
昭和60年	3,176	3,762	△586	平成20年	3,652	3,161	491
昭和61年	3,281	3,675	△394	平成21年	3,874	3,196	678
昭和62年	4,512	3,533	979	平成22年	3,614	3,203	411

資料：大阪市統計書

5. 一般世帯数と一世帯当り人員数

・世帯数は増減を経て平成17年は微増傾向。一世帯当り人員は市全体の水準より高い。

図表 2-4-4-7 一般世帯数と一世帯当り人員の推移【此花区】



		S55	S60	H2	H7	H12	H17
此花区	一般世帯数	25,403	24,616	25,802	27,583	27,102	27,565
	一世帯当り人員	2.88	2.79	2.67	2.47	2.38	2.29
大阪市	一世帯当り人員	2.83	2.71	2.53	2.36	2.22	2.12

単位：一般世帯数（人） 一世帯当り人員（人/世帯）

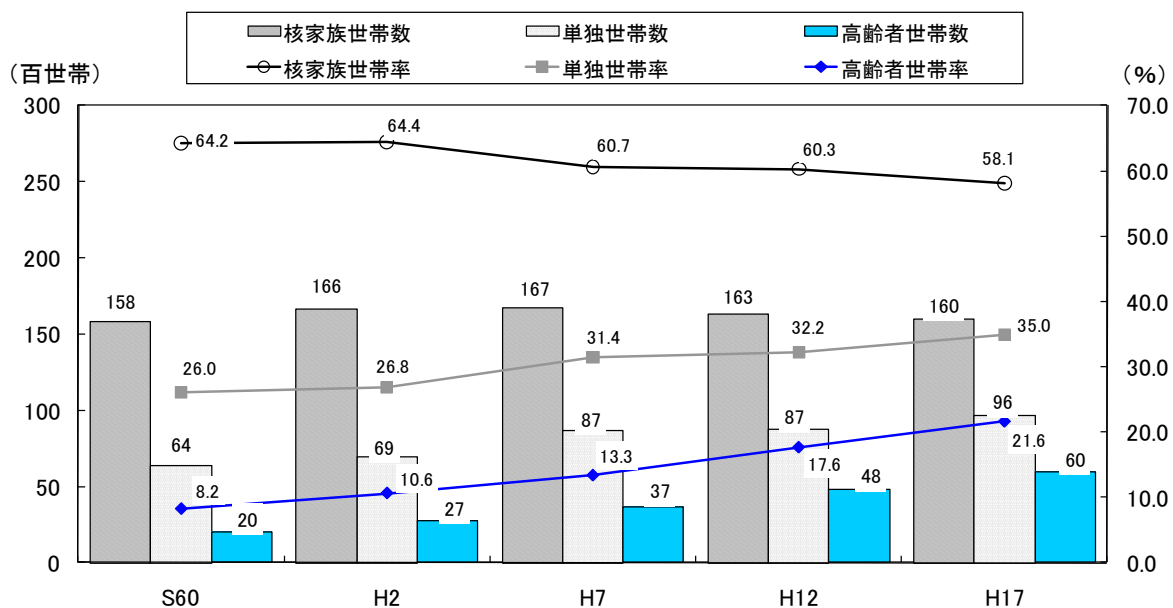
資料：国勢調査

※S55は普通世帯、S60以降は一般世帯

6. 世帯の状況

・核家族世帯率は市全体の水準と比べ高く、単独世帯率は市全体の水準と比べ低く、高齢者世帯率は大幅に上昇している。

図表 2-4-4-8 核家族世帯・単独世帯・高齢者世帯の推移【此花区】

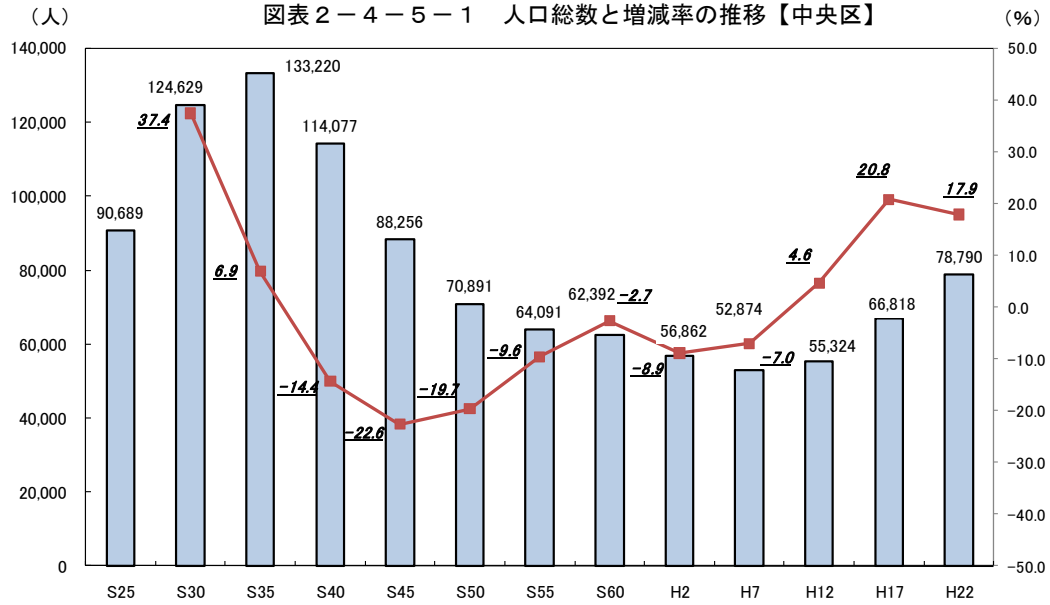


資料：国勢調査

< 5 > 中央区

1. 人口の推移

・昭和 35 年のピーク後、急激に減少。平成 12 年に増加へ転じ、その後大幅な増加が続く。

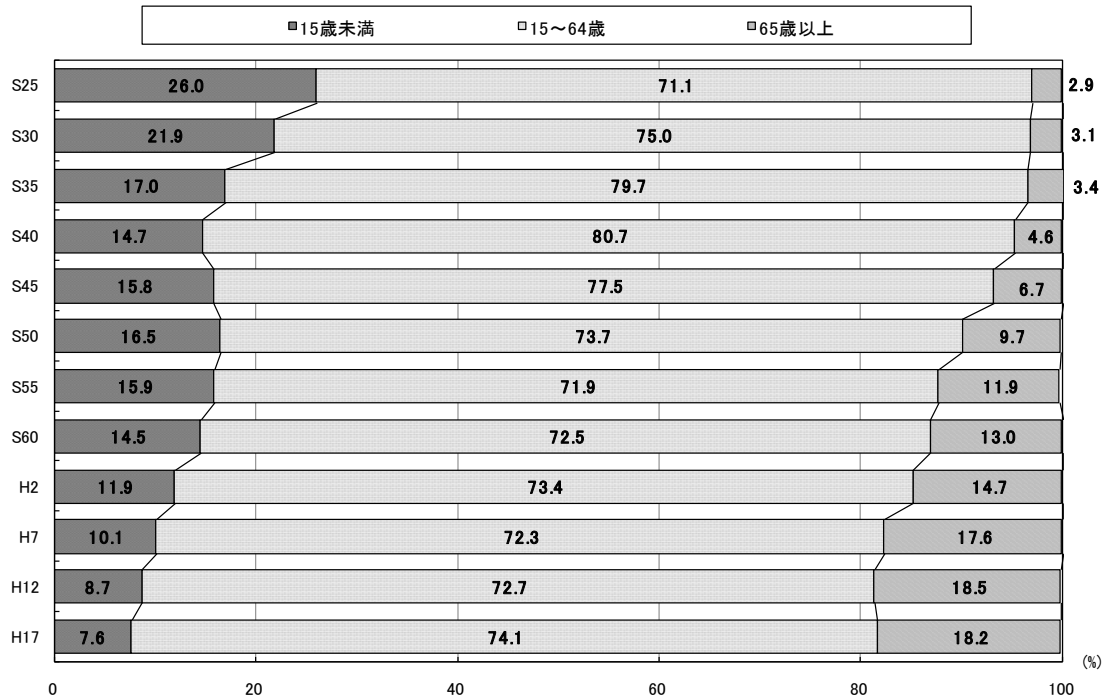


資料：国勢調査 ※H22は速報値

2. 年齢3区分別人口割合の推移

・生産年齢人口割合は高い水準で推移。平成 17 年では 24 区中最も生産年齢人口割合が高い区となっている。

図表 2-4-5-2 年齢3区分別人口割合の推移【中央区】



資料：国勢調査

注：年齢「不詳」を含むため、合計値が100%にならない場合がある。

3. 自然動態

・他区よりも早い平成元年に自然減少に転じるが、平成18年より再度自然増加となっている。

図表2-4-5-3 出生・死亡・自然増減数の推移【中央区】

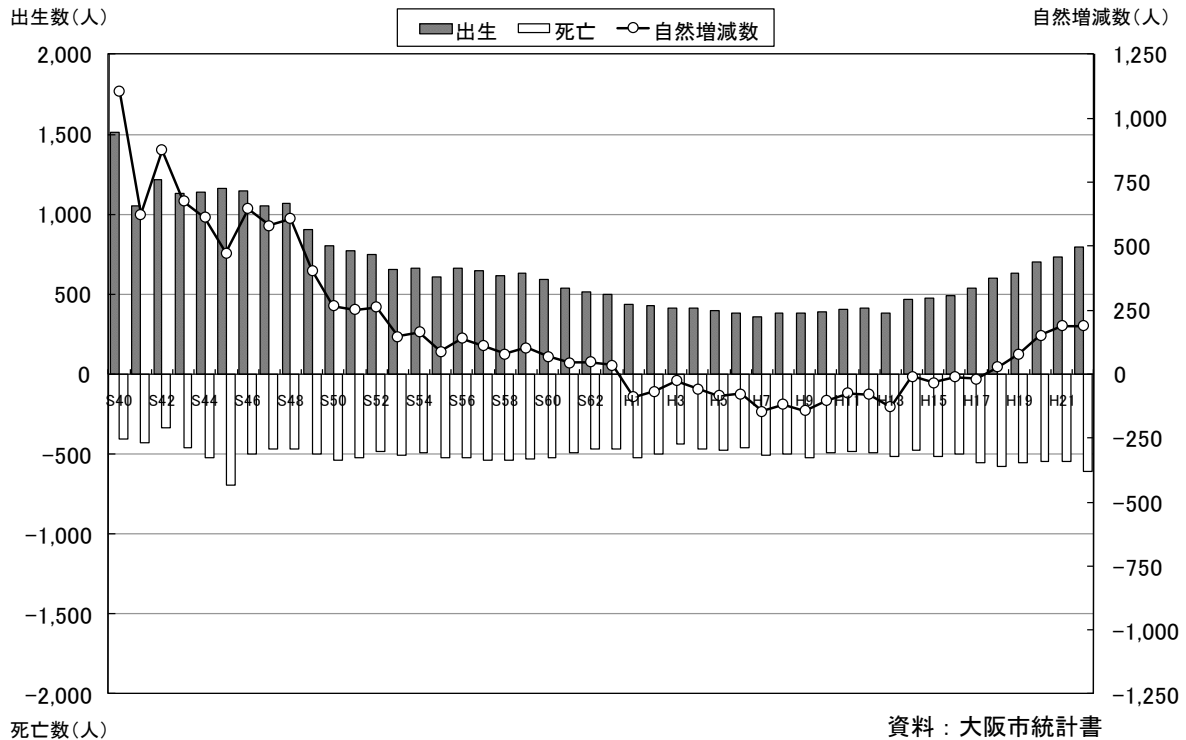


図2-4-5-4 出生・死亡・自然増減数の推移【中央区】

	出生数	死亡数	自然増減数		出生数	死亡数	自然増減数
昭和40年	1,515	409	1,106	昭和63年	502	467	35
昭和41年	1,056	430	626	平成元年	433	521	△88
昭和42年	1,214	339	875	平成2年	431	499	△68
昭和43年	1,133	458	675	平成3年	414	440	△26
昭和44年	1,140	526	614	平成4年	414	471	△57
昭和45年	1,165	691	474	平成5年	394	479	△85
昭和46年	1,143	496	647	平成6年	381	457	△76
昭和47年	1,050	469	581	平成7年	359	505	△146
昭和48年	1,072	464	608	平成8年	382	501	△119
昭和49年	902	496	406	平成9年	383	525	△142
昭和50年	807	540	267	平成10年	386	490	△104
昭和51年	771	520	251	平成11年	408	482	△74
昭和52年	745	482	263	平成12年	412	491	△79
昭和53年	657	509	148	平成13年	384	511	△127
昭和54年	659	495	164	平成14年	470	478	△8
昭和55年	611	521	90	平成15年	477	511	△34
昭和56年	659	520	139	平成16年	492	502	△10
昭和57年	646	536	110	平成17年	538	557	△19
昭和58年	617	537	80	平成18年	601	574	27
昭和59年	635	531	104	平成19年	629	550	79
昭和60年	591	522	69	平成20年	699	546	153
昭和61年	536	490	46	平成21年	733	545	188
昭和62年	512	465	47	平成22年	797	609	188

資料：大阪市統計書

4. 社会動態

・平成7年に社会増加に転じ、その後急激に増加幅が拡大。大幅な社会増加が続く。

図表 2-4-5-5 転入・転出・社会増減数の推移【中央区】

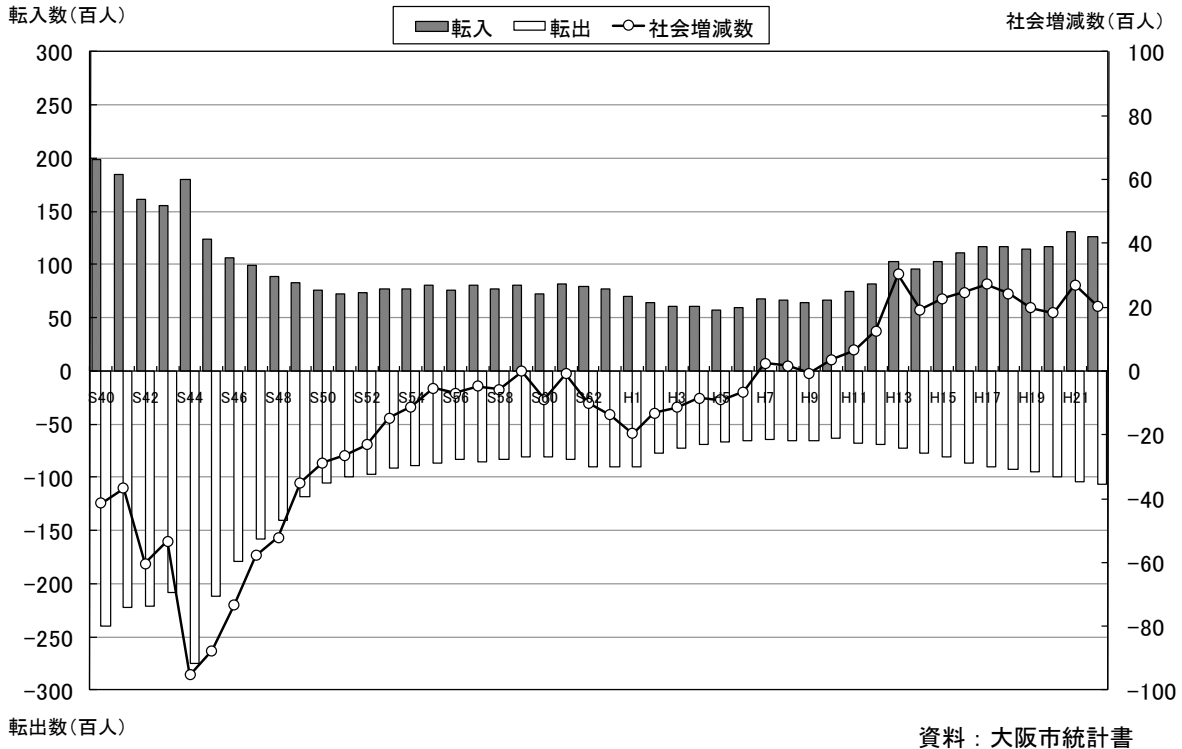


図 2-4-5-6 転入・転出・社会増減数の推移【中央区】

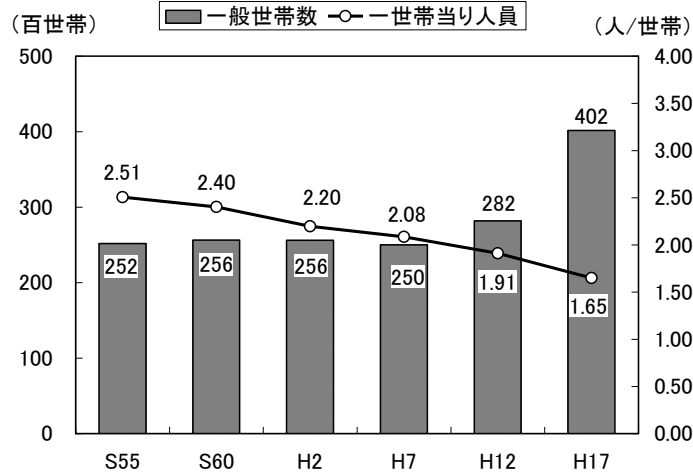
	転入数	転出数	社会増減数		転入数	転出数	社会増減数
昭和 40 年	19,861	23,998	△4,137	昭和 63 年	7,678	9,044	△1,366
昭和 41 年	18,507	22,181	△3,674	平成元年	7,057	9,012	△1,955
昭和 42 年	16,092	22,120	△6,028	平成 2 年	6,434	7,749	△1,315
昭和 43 年	15,516	20,843	△5,327	平成 3 年	6,102	7,238	△1,136
昭和 44 年	17,981	27,494	△9,513	平成 4 年	6,036	6,891	△855
昭和 45 年	12,455	21,214	△8,759	平成 5 年	5,765	6,680	△915
昭和 46 年	10,594	17,906	△7,312	平成 6 年	5,938	6,591	△653
昭和 47 年	9,964	15,739	△5,775	平成 7 年	6,726	6,486	240
昭和 48 年	8,873	14,090	△5,217	平成 8 年	6,719	6,563	156
昭和 49 年	8,336	11,832	△3,496	平成 9 年	6,488	6,561	△73
昭和 50 年	7,646	10,525	△2,879	平成 10 年	6,724	6,361	363
昭和 51 年	7,287	9,927	△2,640	平成 11 年	7,446	6,784	662
昭和 52 年	7,402	9,707	△2,305	平成 12 年	8,208	6,957	1,251
昭和 53 年	7,675	9,142	△1,467	平成 13 年	10,331	7,299	3,032
昭和 54 年	7,768	8,897	△1,129	平成 14 年	9,609	7,695	1,914
昭和 55 年	8,073	8,617	△544	平成 15 年	10,342	8,065	2,277
昭和 56 年	7,586	8,283	△697	平成 16 年	11,164	8,705	2,459
昭和 57 年	8,015	8,492	△477	平成 17 年	11,690	8,974	2,716
昭和 58 年	7,755	8,337	△582	平成 18 年	11,653	9,217	2,436
昭和 59 年	8,076	8,090	△14	平成 19 年	11,489	9,509	1,980
昭和 60 年	7,215	8,097	△882	平成 20 年	11,713	9,885	1,828
昭和 61 年	8,200	8,282	△82	平成 21 年	13,069	10,367	2,702
昭和 62 年	7,995	9,008	△1,013	平成 22 年	12,677	10,633	2,044

資料：大阪市統計書

5. 一般世帯数と一世帯当り人員数

・世帯数は平成17年に大幅な増加をみせるが、一世帯当り人員は大幅に減少。

図表2-4-5-7 一般世帯数と一世帯当り人員の推移【中央区】



		S55	S60	H2	H7	H12	H17
中央区	一般世帯数	25,171	25,627	25,613	24,999	28,174	40,162
	一世帯当り人員	2.51	2.40	2.20	2.08	1.91	1.65
大阪市	一世帯当り人員	2.83	2.71	2.53	2.36	2.22	2.12

単位：一般世帯数（人） 一世帯当り人員（人/世帯）

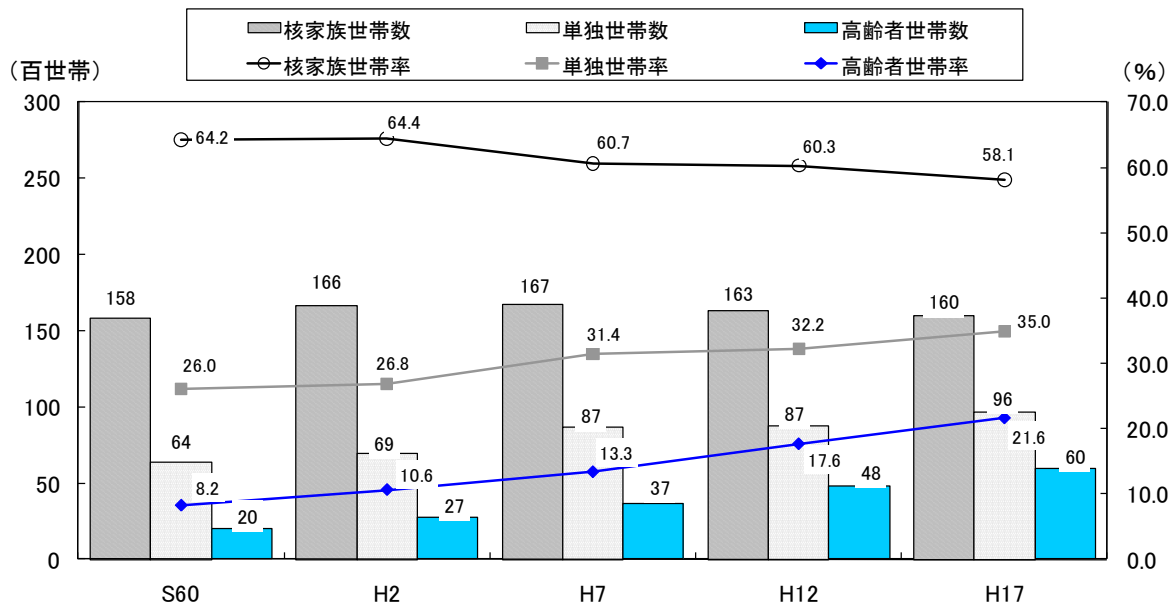
資料：国勢調査

※S55は普通世帯、S60以降は一般世帯

6. 世帯の状況

・核家族世帯数は横ばい。単独世帯は大幅に増加し、平成17年の単独世帯率は64.1%となっている。

図表2-4-5-8 核家族世帯・単独世帯・高齢者世帯の推移【中央区】

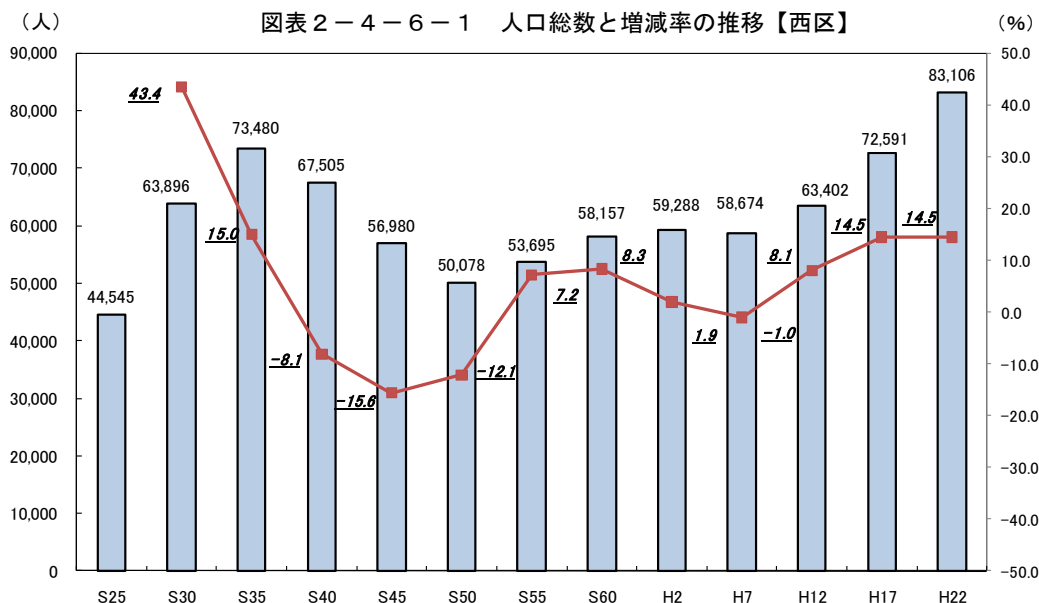


資料：国勢調査

< 6 > 西区

1. 人口の推移

・昭和55年から増加が続くが、平成12年からは増加幅が拡大している。

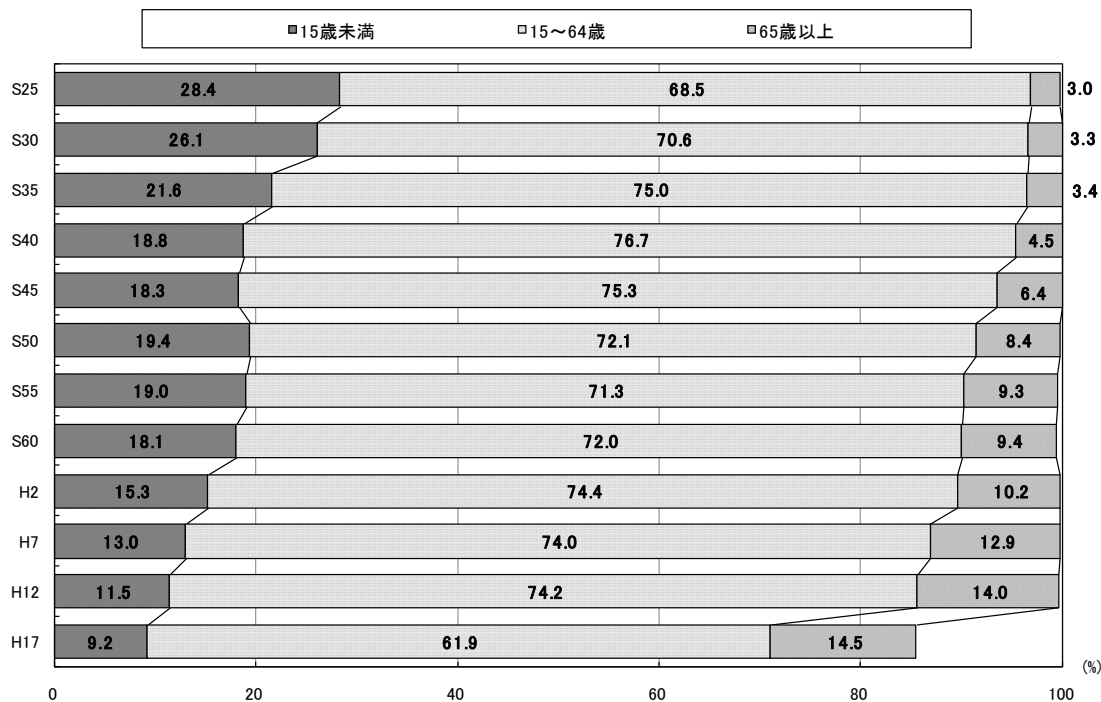


資料：国勢調査 ※H22は速報値

2. 年齢3区分別人口割合の推移

・生産年齢人口割合は高い割合で推移し、老年人口割合は低い割合で推移している。

図表 2-4-6-2 年齢3区分別人口割合の推移【西区】



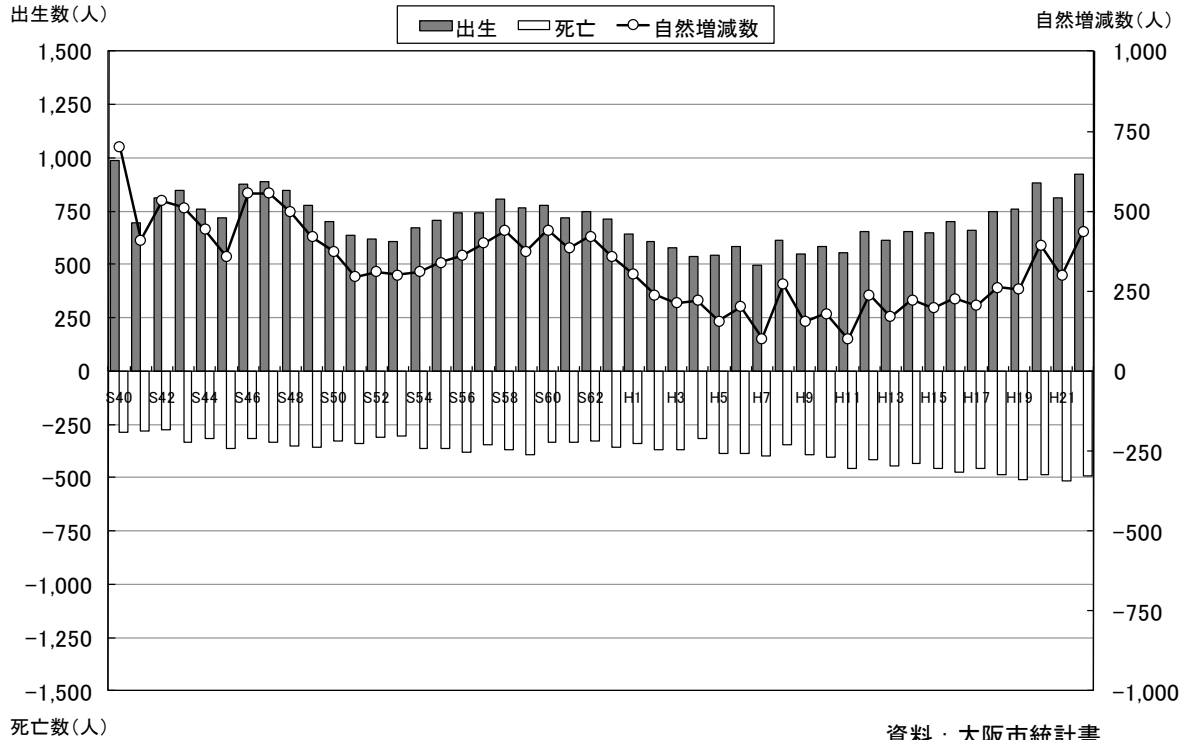
資料：国勢調査

注：年齢「不詳」を含むため、合計値が100%にならない場合がある。

3. 自然動態

・自然増加を維持し、増加幅は拡大傾向。平成22年の出生数は昭和40年以降2番目に多い。

図表2-4-6-3 出生・死亡・自然増減数の推移【西区】



資料：大阪市統計書

図2-4-6-4 出生・死亡・自然増減数の推移【西区】

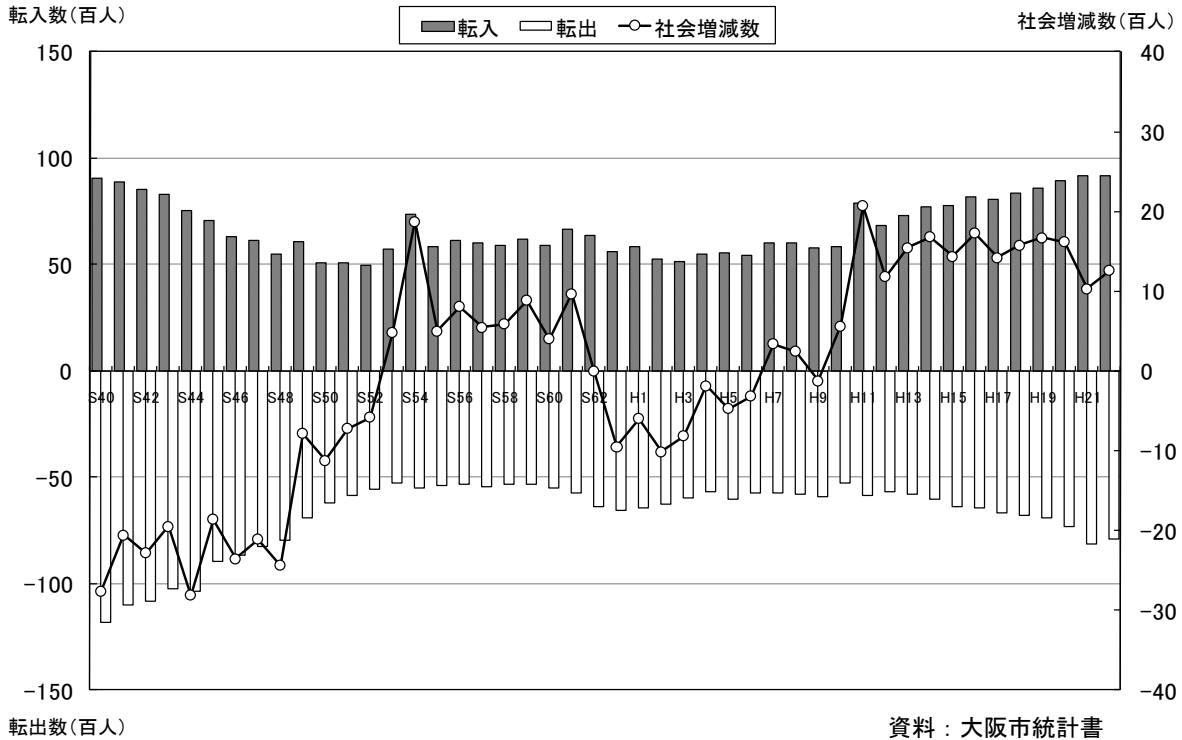
	出生数	死亡数	自然増減数		出生数	死亡数	自然増減数
昭和40年	990	288	702	昭和63年	714	357	357
昭和41年	694	283	411	平成元年	644	341	303
昭和42年	810	277	533	平成2年	606	368	238
昭和43年	847	336	511	平成3年	580	366	214
昭和44年	759	315	444	平成4年	536	315	221
昭和45年	722	362	360	平成5年	543	386	157
昭和46年	875	318	557	平成6年	586	385	201
昭和47年	891	335	556	平成7年	500	397	103
昭和48年	846	348	498	平成8年	615	343	272
昭和49年	776	356	420	平成9年	548	393	155
昭和50年	703	328	375	平成10年	583	403	180
昭和51年	635	339	296	平成11年	554	454	100
昭和52年	620	310	310	平成12年	654	415	239
昭和53年	607	305	302	平成13年	613	442	171
昭和54年	671	360	311	平成14年	656	432	224
昭和55年	705	365	340	平成15年	652	454	198
昭和56年	741	379	362	平成16年	699	471	228
昭和57年	744	344	400	平成17年	661	455	206
昭和58年	806	366	440	平成18年	748	485	263
昭和59年	766	390	376	平成19年	763	507	256
昭和60年	778	336	442	平成20年	883	488	395
昭和61年	721	336	385	平成21年	813	513	300
昭和62年	749	326	423	平成22年	925	489	436

資料：大阪市統計書

4. 社会動態

・昭和 50 年代は社会増加が続いたが、平成 10 年以降はそれを上回る社会増加が続いている。

図表 2-4-6-5 転入・転出・社会増減数の推移【西区】



資料：大阪市統計書

図 2-4-6-6 転入・転出・社会増減数の推移【西区】

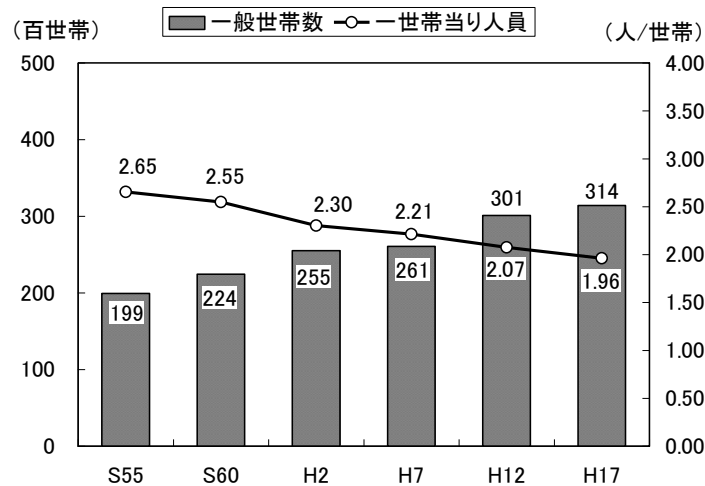
	転入数	転出数	社会増減数		転入数	転出数	社会増減数
昭和 40 年	9,076	11,830	△2,754	昭和 63 年	5,605	6,549	△944
昭和 41 年	8,907	10,965	△2,058	平成元年	5,828	6,428	△600
昭和 42 年	8,536	10,815	△2,279	平成 2 年	5,256	6,269	△1,013
昭和 43 年	8,303	10,250	△1,947	平成 3 年	5,134	5,947	△813
昭和 44 年	7,542	10,354	△2,812	平成 4 年	5,496	5,682	△186
昭和 45 年	7,085	8,943	△1,858	平成 5 年	5,539	6,007	△468
昭和 46 年	6,330	8,679	△2,349	平成 6 年	5,426	5,738	△312
昭和 47 年	6,126	8,236	△2,110	平成 7 年	6,047	5,709	338
昭和 48 年	5,526	7,959	△2,433	平成 8 年	6,009	5,762	247
昭和 49 年	6,097	6,882	△785	平成 9 年	5,801	5,925	△124
昭和 50 年	5,083	6,202	△1,119	平成 10 年	5,860	5,292	568
昭和 51 年	5,094	5,819	△725	平成 11 年	7,920	5,850	2,070
昭和 52 年	4,977	5,554	△577	平成 12 年	6,824	5,645	1,179
昭和 53 年	5,744	5,262	482	平成 13 年	7,338	5,791	1,547
昭和 54 年	7,395	5,520	1,875	平成 14 年	7,696	6,014	1,682
昭和 55 年	5,877	5,372	505	平成 15 年	7,789	6,354	1,435
昭和 56 年	6,118	5,314	804	平成 16 年	8,188	6,459	1,729
昭和 57 年	5,996	5,445	551	平成 17 年	8,064	6,643	1,421
昭和 58 年	5,934	5,342	592	平成 18 年	8,359	6,783	1,576
昭和 59 年	6,222	5,339	883	平成 19 年	8,598	6,928	1,670
昭和 60 年	5,897	5,497	400	平成 20 年	8,941	7,322	1,619
昭和 61 年	6,685	5,713	972	平成 21 年	9,160	8,129	1,031
昭和 62 年	6,374	6,380	△6	平成 22 年	9,176	7,920	1,256

資料：大阪市統計書

5. 一般世帯数と一世帯当り人員数

・世帯数は増加傾向。一世帯当り人員は市全体の水準を下回り推移。平成17年には2.00人を下回った。

図表2-4-6-7 一般世帯数と一世帯当り人員の推移【西区】



		S55	S60	H2	H7	H12	H17
西区	一般世帯数	19,926	22,447	25,500	26,061	30,097	31,396
	一世帯当り人員	2.65	2.55	2.30	2.21	2.07	1.96
大阪市	一世帯当り人員	2.83	2.71	2.53	2.36	2.22	2.12

単位：一般世帯数（人） 一世帯当り人員（人/世帯）

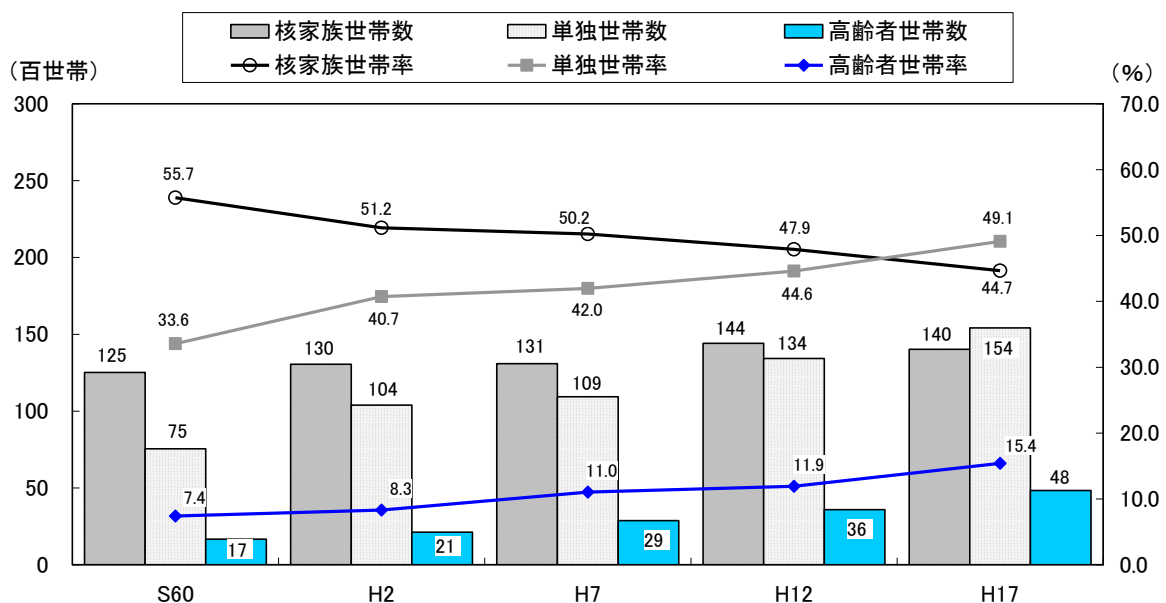
資料：国勢調査

※S55は普通世帯、S60以降は一般世帯

6. 世帯の状況

・平成17年には、単独世帯数が核家族世帯数を上回る。高齢者世帯数は低い割合になっている。

図表2-4-6-8 核家族世帯・単独世帯・高齢者世帯の推移【西区】



資料：国勢調査